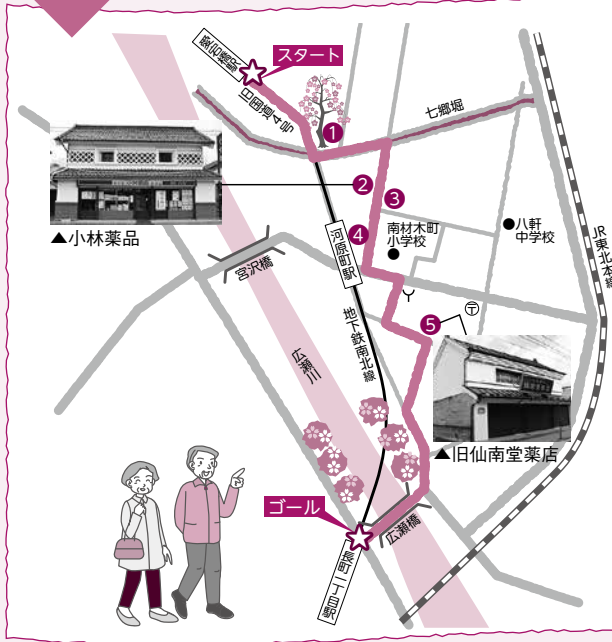


建造物が刻む街の歴史と文化 桜を愛でながら巡る道

その十二

今回は、若林区内にある「杜の都景観重要建造物等」を巡るまちあるき。これは、景観形成に重要な役割を果たしている歴史的・文化的建造物等として、市が指定したものです。

地下鉄愛宕橋駅を出発。緩やかな下り坂を軽快に進むと旧国道4号に「昭和市電通り」の標識を発見！地域が中心になり、公募で決定した道路の愛称で、



せんだい
仙臺まちあるき虎の巻

◆歩行距離：2km ◆所要時間：30分（分速67mで計算）
※今回のコースは「杜の都景観重要建造物等―杜の都の歴史と文化の継承」（市役所本庁舎7階都市景観課で配布。市ホームページからもダウンロード可）を参照 問都市景観課 ☎214・8288



▲石橋屋。春には、立派な桜が迎えてくれます

かつてこの通りを走った市電の後世に語り継ぎたいとの思いが込められているとのこと。

七郷堀の所で曲がると仙台駄菓子子の老舗「石橋屋」(図①)が。店先には染め抜きの暖簾や天水桶があり、趣のある佇まいに風情を感じます。さらに進む

と、左右対称の虫籠窓やそれを取り囲む海鼠壁が特徴的な「小林薬品」(図②)と土井晩翠や市川房枝など多くの文人・墨客も滞在した「旧針惣旅館」(図③)、その先には「旧丸木商店」(図④)も見えてきました。昔ながらの面影を残す街並みにどこか懐かしさを覚えます。旧丸木商店の格子壁には、震災時に壊れた店蔵を復活させようと小学生が励ましの気持ちでデザインした紋が。個性豊かなデザインが楽しい気持ちにさせてくれます。「旧仙南堂薬店」(図⑤)では、秋保石積の腰壁と大きな看板が目を引きます。

旧国道4号に戻り、歩を進めると「日本最初の鉄筋コンクリート橋跡」の標識と広瀬橋が見えてきました。橋の上から川の流れを眺め一息。川沿いではこれから桜も楽しめます。程なく地下鉄長町一丁目駅へ到着。

街の歴史とともに歩んできた建造物。街並みに調和し、魅力的な景観をつくっています。春の足音が聞こえる季節、まちあるきに出掛けてみませんか。



▲江戸時代からの樹木も残る旧針惣旅館



▲旧丸木商店と紋の一部



ごみ減量・分別の豆知識

「さんあ〜る」で簡単分別！



3月は引っ越しシーズンですね。片付けなどで、ごみの出し方に迷うことはありませんか？ そんなとき役に立つのが、スマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあ〜る」です。お住まいの地区のごみ・資源物の収集日が確認できたり、処分したい物を検索すると分別方法が分かります。「さんあ〜る」のダウンロードは、Android端末はGoogle playストア、iPhone端末はApp Storeからできます。



▲トップ画面
新たに仙台市に引っ越しして来られた方にも、ぜひ「さんあ〜る」を教えてください。
問家庭ごみ減量課 ☎214・8229、FAX214・8277

知って役立つ！ ワンポイント防災講座

地域の防災拠点・コミュニティ防災センター

市民センターやコミュニティ・センターに防災資機材倉庫が併設されている「コミュニティ防災センター」をご存じですか。小学校区単位で整備されていて、倉庫の中には、リヤカーやメガホン、炊き出し用の大きな鍋やコンロなどのさまざまな防災資機材を備蓄しています。災害時には地域の皆さんが協力して活用することになります。もしもの時に備えて、コミュニティ防災センターの場所と資機材の使い方を地域の防災訓練などで確認しておきましょう。



▲防災資機材倉庫

問防災計画課 ☎214・3047、FAX214・8096